



学校だより 4月号

横浜市立日下小学校 令和5年 4月 7日

夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小

日下小学校 ホームページURL

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita>

「心のスイッチ」

校長 渡邊 勉

温かい春の日差しを受け、校庭のプランターのパンジーやビオラが子どもたちの入学や進級を祝ってくれているようです。いよいよ令和5年度が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級、ご入学、誠におめでとうございます。

友達、先生、教室など環境が変わるため、子どもたちは新しい人々との出会いに心がわくわくしたり、緊張したりしながら今日を迎えたことと思います。私もその一人です。

このたび、栄区桂台小学校より皆川 誠校長先生の後任として着任いたしました渡邊 勉です。日下小学校が皆様とのつながりを大切にしながら、より発展できるよう努力してまいります。また、笑顔あふれる学校づくりをしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

4月6日には、最上級生となった新6年生が、新年度準備のために登校しました。入学式の式場となる体育館や新1年生の教室を整えたり、新1年生を迎える昇降口や靴箱をきれいに掃除したりと、どの子どもたちも汗をかきながら頑張っており、頼もしさを感じました。卒業生から託されたバトンをしっかり引き継ぎ、リーダーとなって在校生を引っ張っていくのだという意欲が伝わってきました。

そして、本日、日下小学校は112名の新1年生を迎え、全校児童606名で創立121年目をスタートしました。始業式では、子どもたちに「心のスイッチ」という詩を紹介しました。

「心のスイッチ」 東井義雄

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ても見えない。

人間の耳はふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。

ほんとうにそうだ、と、腹の底まで聞く人もある。

(中略)

心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

子どもたちが心のスイッチを入れて、着実に前に進んでいけるように、そして『夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小』の学校教育目標の具現化を目指して、教職員一同全力で教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、これまでと同様に、ご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。